

建築確認消防同意調書

建築主											
住所		電話 ()									
代理者資格 住所・氏名 建築士事務所名		電話 () () 建築士 () 登録第 号、() 建築士事務所 () 登録第 号									
設計者資格 住所・氏名 建築士事務所名		電話 () () 建築士 () 登録第 号、() 建築士事務所 () 登録第 号									
工事施工者 住所・氏名		建設業者許可 大臣・知事第 号 電話 ()									
敷地の位置	地名・地番	習志野市			丁目			番地			
	用途地域				その他の区域・ 地域・地区・街区						
	防火地域	防火 ・ 準防火・ 指定なし									
主要用途					工事種別			新築・増築・改築・移転・用途変更・ 大規模の修繕・大規模の模様替え			
		申請部分			申請以外の部分			合計			
敷地面積		m ²			m ²			m ²			
建築面積		m ²			m ²			m ²			
延べ面積		m ²			m ²			m ²			
工事着手予定日		令和 年 月 日			工事完了予定日			令和 年 月 日			
建築物別概要 (第号)	用途					屋根					
	工事種別					外壁					
	構造	造		耐火・準耐・その他		軒裏					
	階別	階	階	階	階	階	階	階	階	階	
	申請部分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
	申請以外の部分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
	合計	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
	階別	階	階	階	階	階	合計		最高の高さ		
	申請部分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m		
	申請以外の部分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	最高の軒の高さ		
合計	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m			
号)	消防用設備等・ 特殊消防用設備等の種類										
※ 受付欄		※ 消防受付欄			※ 備考						
					消防同意 令和 年 月 日 予防第 号						

- 備考 1 許可申請、計画通知等にあっても本調書を使用してください。
 2 申請建築物が2以上の場合は、建築物ごとに「建築物棟別概要」欄を適宜に作り添付してください。
 3 各欄の該当するものを○で囲んでください。
 4 ※印の欄には記入しないで下さい。
 5 本調書には、確認申請書等（建築物）に添付する図面（構造図を除く）、及び消防用設備等の図面を添付してください。

第12号様式の2 (第24条第2項)

建築物棟別概要追加書類

建築物別概要 (第 号)	用途						工事種別		
	構造	造	耐火・準耐・その他	屋根		外壁		軒裏	
	階 別		階	階	階	階	階	合 計	
	床 面 積	申 請 部 分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
		申 請 以 外 の 部 分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
		合 計	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
消防用設備等 特殊消防用設備等の種類									
※備考							最高の高さ	m	
							最高の軒の高さ	m	

建築物別概要 (第 号)	用途						工事種別		
	構造	造	耐火・準耐・その他	屋根		外壁		軒裏	
	階 別		階	階	階	階	階	合 計	
	床 面 積	申 請 部 分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
		申 請 以 外 の 部 分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
		合 計	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
消防用設備等 特殊消防用設備等の種類									
※備考							最高の高さ	m	
							最高の軒の高さ	m	

建築物別概要 (第 号)	用途						工事種別		
	構造	造	耐火・準耐・その他	屋根		外壁		軒裏	
	階 別		階	階	階	階	階	合 計	
	床 面 積	申 請 部 分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
		申 請 以 外 の 部 分	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
		合 計	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
消防用設備等 特殊消防用設備等の種類									
※備考							最高の高さ	m	
							最高の軒の高さ	m	

注 ※印の欄は、記入しないでください。

有効開口部建具表

10階以下の階にあつては、道又は道に通じる幅員1m以上の通路に通じることができる通路その他の空地に面している開口部のみ有効開口部として取扱えます。

また、「道又は道に通ずる幅員1m以上の通路その他の空地」として取扱える判断基準にあつては習志野市消防本部ホームページに掲載されている「無窓階の取扱い」2.(2)を参照してください。

建具 記号	階	開口部の位置	床面からの高さ (m)	幅×高さ (m)	開口部面積 (m ²)	開口部種別	※大型 開口部	備考 (ガラスの種類・厚さmm等)

※ 大型開口部(直径1m以上の円が内接することができる開口部又は、その幅及び高さがそれぞれ75cm以上及び1.2 m以上の開口部)に該当する開口部は、大型開口部の欄に○を記入してください。

消防法による無窓階判定の記載要領

- ① 地上階について、消防法施行規則第5条の5の規定(『無窓階の取扱い』を参照し算定してください。(習志野市消防本部ホームページに掲載))に適合する開口部のみ計上してください。
- ② 『有効開口部建具表』に消防法施行規則第5条の5の規定に適合する開口部を記載し、各階ごとに、普通階又は無窓階の判定の計算を『消防法による無窓階の判定』にて行ってください。
- ③ 幅及び高さは、現に開放できる部分の数値を記入して下さい。
- ④ 数値は、その都度に小数点第3位以下を切り捨てて下さい。
- ⑤ 消防法施行規則第5条の5の規定に適合する開口部については、建具表等を添付し、開口部の種別、大きさ及びガラスの種類、厚み並びに鍵の有無等が確認できるようにして下さい。
- ⑥ 『床からの高さ』欄には、床面から開口部下端までの高さを記入して下さい。
- ⑦ 『開口部種別』欄には、引き違い、縦軸回転、水圧開放装置付等の種別を記入して下さい。
- ⑧ 『有効開口部計算式』の欄には、有効開口部建具表の建具記号と個数(例:AW1×2)を明示し、計算式を記入して下さい。
- ⑨ 『備考』欄には、ガラスの種類・厚さ等を記載してください。
- ⑩ ※ 消防機関判定欄は、記入しないで下さい。